

製造安全データシート

1, 製造者情報

会社 シンコー油脂株式会社
 住所 兵庫県尼崎市上坂部1丁目1番2号
 E-mail: sinkoyusi_ohtani@khf.biglobe.ne.jp
 電話 大阪(06)6492-3807
 FAX 大阪(06)6492-3828

2, 製品名 サーフインワックス ベース 全天候型

3, 物質の特性

単一製品・混合物の区別	混合製品
化学品	飽和炭化水素との混合物
製品および含有量	パラフィンと天然鉱石、接着剤の混合物及び香料
主化学式又は構造式	C ₁₇ H ₃₄
官報公示整理番号	8-414(化審法)
CAS No.	8002-74-2
EINEX	233159
国連分類、国連番号	該当せず。

4, 危険性有害性の種類

分類の名称	該当せず。
危険性	可燃性である。(消防法の可燃性固体類に指定) ACGIHでは溶融時の煙霧、蒸気が規制されている。
環境への影響	分解性が良いと判断される。

5, 応急処置

溶解時の場合	固形での取り扱いの場合には問題発生が少ないと思われるが、溶解時の取り扱いには火傷などの障害を招く可能性があるので注意を要する。
目に入った場合	火傷の可能性もあるので、大量の水で洗顔し医師の診察を受ける。
皮膚に付着した場合	大量の水で付着部分を冷却し、火傷など皮膚に異常が生じた場合にはその傷の手当てを行い、場合に応じて医師の診断を受ける。皮膚アレルギー性の者に付着して問題が生じた場合、医師の診断を受ける。
吸入した場合	ワックスの煙霧、蒸気を吸引して気分が悪くなった場合、新鮮な空気を吸入させ安静にする。なお、症状に応じて医師の診断を受ける。
誤飲した場合	医師の診断を受ける。
目に入った場合	目に塵が入った場合と同様に、大量の水で洗顔し症状に応じて医師の診断を受ける。

6, 火災時の処置

消火方法	油火災に準じる。
消火剤	同上。

7, 漏出時の処置

水又は砂で冷却固化後に回収する。

8, 取り扱いおよび保管上の注意

取り扱い	溶解時、酸化劣化防止のため高温での長時間過熱に注意。 消防法の過熱性固体物につき火災に注意。
保管上の注意	固体での保管の場合、ブロッキングを起こす事はないが、できる限り冷暗所に保管すること。

9, 暴露防止処置

管理濃度	設定されていない。
許容濃度	日本産業衛生学会(91年度版)設定されていない。 ACGIH(91年度版) 2mg/(TWA)
設備対策	全体換気扇を設置した場所で行う。
保護具	状況に応じて呼吸保護具(防塵マスク、ゴーグル型)保護手袋、保護着を着用する。

10, 物理、化学的性能

外観	淡灰色の固体
臭気	無臭
密度	1.95 g/cm ³ (25℃)
沸点	データ無し
融点	73℃ (±1℃)
蒸気圧	常温で気体ではない。
蒸気密度	蒸気圧に同じ。
溶解度	融点以上で溶解する。
その他	BTX溶剤に加温で不溶。

11, 危険性情報

引火点	208℃以上
発火点	データ無し

安定性、反応性	爆発限界	上限 データ無し 下限 データ無し
可燃性	3[t]以上では指定可燃物の可燃性物体	
発火性	自然発火無し	
酸化性	無し	
自己反応性	爆発性等、無し	
粉塵爆発性	無し	
安定性	反応性無し。安定性あり。	

12, 有害情報

以下の各項目に関する情報はないが、FDA172.886 及び 178.3710に適合している。

皮膚腐食性	データ無し
刺激性	データ無し
感作性	データ無し
急性毒性	データ無し
亜急性毒性	データ無し
慢性毒性	データ無し
癌原性	データ無し
変異原性	データ無し
生殖毒性	データ無し
催奇形性	データ無し

13, 環境影響情報

分解性	あり。A.D.Hanstveit:TND report,Netherland orgo,forAppl,Resear,(1990)
蓄積性	データ無し
魚毒性	データ無し

14, 廃棄上の注意

残余廃棄物	原則、使い切る。
包装	使用している紙はリサイクル可能な紙を使用している。
絵表示又はシンボル	



15, 輸送上の注意

直射日光を受け高温になると溶けやすくなる。

16, 適用法令

消防法	指定可燃物(3[t])
PRTR法	第1種、第2種 該当なし(届異議なし)

17, その他

17-1, 危険物質の使用について

(ア), 以下の危険物質リストの物質は、使用していないことを確認している。

- ・エコテックス規格100規制物質リスト
- ・アシックス制限リスト(RSL)
- ・オーガニックテキスタイル第四版(世界基準)

(イ), 厚生労働省の食品衛生法によるポジティブリストに掲載されている物質のみにて構成されている。

17-2, 本製品使用にあたり

他のサーフィンワックスは気温・水温によって使い分けをしている場合が多いが、弊社の製品については、全天候型を目指して開発しました。

よって、ベースを塗った後トップの塗布量により、使用者の好むグリップカに調整してください。

18, 特記事項

この安全データシートは、JIS Z 7253(2012)に基づいて作成し、記載事項は、現時点で入手できる資料、データに基づいて作成したものであり、上記の情報は新しい知見により改訂されることがあります。又注意事項は通常の取り扱いを対象にしたものであり、特殊な取り扱いの場合には、用途、用法に適した安全対策を実施の上ご利用ください。上記の内容は、情報提供したものであって、保証するものではありません。

弊社製品に記載されているQRコードを読み取る事によってサーフィンワックスのグリップカ検証実験をすべての人が、見ることが出来るようにしました